

## ■ 委員長報告概要 ■

		平成 28 年 9 月 定例会
		総務文教常任委員会
議 案 件 名	議案第 70 号 平成 27 年度山陽小野田市小型自動車競走事業特別会計歳入歳出決算認定について	
概 要	歳入合計は 69 億 2,916 万 4,720 円で、歳出合計は、78 億 6,136 万 6,086 円。事業収入 65 億 5,231 万 4,780 円で売上額は 65 億 4,198 万 7,400 円。事業費は 71 億 2,433 万 8,993 円で、包括的民間委託料は、5 億 2,465 万 6,286 円。	
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<p>* 売上が減少した主な理由として、26 年度はお盆開催だったが、27 年度は 8 月末の開催になったことと、1 月に雪で開催日が 1 日減少したため。</p> <p>* 累積赤字額は、平成 26 年度末で 7 億 3,702 万 7,093 円、27 年度末は 9 億 3,220 万 1,366 円。</p> <p>* 包括的民間委託の契約は本年度が最終年度であるが、委託先から継続の意向が示された。</p> <p>* 地域公益事業は、中央福祉センターの給湯器増設工事、下津・出合・津布田・厚陽保育園のトイレ洋式化、なるみ園の床改修工事、高泊小学校のプール改修工事、下津保育園のエアコン取付工事等合計で 807 万 2,800 円。</p> <p>* 返済計画については、新たな収益向上策が現在進行形で動いており、今後の収入額が変わってくるので、できるだけ早く新たな計画を出したい。</p>	
討 論	売上が年々減少しており、また公営のギャンブルに疑問があり反対する。 オートレース事業は開発途上の要素もあり、効果効率の上がる事業展開をしっかりとってもらうことを希望して賛成する。	
結 果	賛成多数で認定	

## ■委員長報告概要■

	平成28年9月定例会
	民生福祉常任委員会
議 案 件 名	議案第64号 平成27年度山陽小野田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
概 要	歳入総額87億8,215万3,520円に対し、歳出総額86億3,094万9,952円となり、差し引き1億5,120万3,568円の黒字となった。
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「国保運営協議会が2回開催されたが、保険医等の欠席はなぜか。また保険料率の変更をなぜ諮らないのか」の問いに「日程調整がうまくいかなかった。今後は夜間開催も検討したい。料率変更も重要事項であり、協議会の承認を得る努力をしたい」</li> <li>* 「薬局へのお薬手帳提出が義務化されたが、調剤管理が一元化されるのか」の問いに「昨年、国が薬局ビジョンを出し、掛かり付け薬局や残薬調整を打ち出した」また「調剤費が年々増えているがなぜか。ジェネリックの効果はどうか」の問いに「C型肝炎の新薬や抗がん剤が調剤費を押し上げている。ジェネリック使用率の59.1%は県平均56.7%を上回っており、保険者の負担ベースで年間312万円程度の効果が出ている」</li> <li>* 「コンビニ収納の目標7,000件の実績は」の問いに「27年度は8,847件で毎年伸びており、予算に反映させていきたい」</li> <li>* 「特定健診受診率のアップで医療費が低下するとの分析はあるのか」の問いに「今後、分析をしたい」</li> <li>* 「滞納のうち所得200万円以下の世帯が54%、差し押さえでも200万円以下の世帯が37%だが、滞納・差し押さえはどの所得階層が一番多いのか」の問いに「200万円以下の世帯では所得なしが一番多く、滞納世帯が315件、差し押さえは28件ある。資格証明書は所得ゼロから50万円までの階層で120件ある」また「資格証明書は行政処分だが、当事者に会わずに行政処分は適法なのか」の問いに「行政側が精一杯努力しても対応しない場合は、面談や弁解なしに行政処分は可能との認識だ」</li> <li>* 「収入未済額3億6,000万円のうち現年分が8,300万円で、収納率が91%程度だが、県制度に移行するにあたって収納率アップの方策は」の問いに「広域化の中で標準的な収納率は92%となっており、収納係を1名増員し収納率アップに努めたい」</li> <li>* 「国保料のクレジット払いは可能なのか」の問いに「国保独自のシステム構築は困難で、銀行のキャッシュカードで振替ができるペイジーは検討中」</li> </ul>
討 論	なし
結 果	全員賛成で認定

## ■ 委員長報告概要 ■

	平成 28 年 9 月 定例会
	民生福祉常任委員会
議 案 件 名	議案第 65 号 平成 27 年度山陽小野田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
概 要	歳入総額 58 億 9,201 万 8,850 円に対し、歳出総額 57 億 2,139 万 6,287 円となり、差し引き 1 億 7,062 万 2,563 円の黒字となった。
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「施設介護サービス費がなぜ減少したのか」の問いに「市内に 40 床の特定施設入所者生活介護施設ができ、老健から年間 179 件の移動があった。老健施設は 3 か月以上いることはできないが、新たな増員ができなかったので減額となった」</li> <li>* 「一次予防事業の百歳体操の取り組みと目標は」の問いに「現在、市内 23 か所で開始しており、年間 12 か所ずつ増やしていき、最終的に 65 歳以上の 1 割が参加できるようにしたい」</li> <li>* 「介護予防応援隊養成講座の実績と目標は」の問いに「動ける応援隊員を年間 30 名養成する目標だが、昨年度は 18 名が登録しており、百歳体操や脳いきいきクラブ、認知症普及啓発イベントなどのファシリテーター役をお願いしている」</li> <li>* 「介護予防マネジメント事業の電話や来庁相談、家庭訪問などの 1 万 7929 件の相談結果は」の問いに「ほぼ解決している。虐待など継続中の相談も含め、整理して県に報告している」</li> <li>* 「来年度から廃止を検討している配食サービス利用者は 91 人だが、今後はどうなるのか」の問いに「総合事業で存続を検討しているが、要支援 1、2 と基本チェックリストで該当しない人をどうするか検討中」</li> <li>* 「安心ナースホンの年間実績は」の問いに「27 年度末で 272 台。専門的オペレーターに 24 時間体制で連絡可能で、27 年度に緊急通報が 43 件で、そのうち救急搬送が 28 件、家族の搬送が 3 件、相談は 525 件あった」また「通報システムを持たない方の孤独死が昨年も何件か発見された。孤独死対策に関して具体的にどうするのか」の問いに「社協とどうしちよるネットの限界点について協議した。自治会長や民生委員などが勧めても、登録を拒否される方がいるが、包括支援センター等で対応できないか検討している」</li> <li>* 「介護保険の滞納状況と対策は」の問いに「27 年度末で 423 件約 2,386 万円で、滞納者は全員が普通徴収」また「昨年度の不納欠損は 485 万 6,000 円だが、滞納対策はどうか」の問いに「高齢者の増加に伴って 1 号被保険者が増加し、滞納額が増える傾向にある。サービス利用者は遅れても納めているので本市ではサービス利用者へのペナルティは課していない」</li> </ul>
討 論	なし
結 果	全員賛成で認定

## ■ 委員長報告概要 ■

	平成 28 年 9 月 定例会
	民生福祉常任委員会
議 案 件 名	議案第 66 号 平成 27 年度山陽小野田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
概 要	歳入総額 9 億 2,457 万 5,644 円に対し、歳出総額 9 億 2,346 万 4,469 円となり、差し引き 111 万 1,175 円の黒字となった。
論点又は質疑 によって明らか になった事項	* 「滞納の件数と内容は」の問いに「滞納者は現年度分の普通徴収が 437 件、102 人で金額は 390 万 7,138 円。滞納繰越分が 130 件、34 人で金額は 153 万 570 円となる」また「普通徴収と特別徴収の割合は」の問いに「特別徴収が全体の 75%、普通徴収の 15%が口座振替、窓口納付が 8%、コンビニ納付が 1%程度となっている」
討 論	なし
結 果	全員賛成で認定

## ■ 委員長報告概要 ■

		平成 2 8 年 9 月 定例会
		民生福祉常任委員会
議 案 件 名	議案第 7 1 号 平成 2 7 年度山陽小野田市病院事業決算認定について	
概 要	一般会計からの特別繰入金 2 億 9,700 万円を含めた病院事業収益が 41 億 9,240 万 103 円で、病院事業費用が 41 億 350 万 9,455 円となり、差し引き 8,889 万 648 円の黒字となった。未処理欠損金は 32 億 7,161 万 8,783 円。	
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「内科の外来患者数が減少している理由は」の問いに「実数は減っていない。薬剤費が高いため、その分薬の投与期間が長くなり、従来は 2 週間だったが今は 1 か月、2 か月を希望する」</li> <li>* 「内科の待ち時間の解消策は」の問いに「呼び出しフォンを試行しているが一長一短がある。今週末くらいから導入する」 また「予約制が機能していないのではないか」の問いに「午前 8 時半から待っている患者を優先すると予約の患者を待たせることになり、難しい」また「予約と新規患者を診る担当科のすみ分けが必要ではないか」の問いに「予約制があった方がいいのかどうか検討するが、長時間待ちの患者さんへの対応は研究したい」また「医師クラークの活用や 30 分以上待っている患者への対応策があるのではないか」の問いに「今後検討したい」</li> <li>* 「外来患者が減ったのに収益が増えている理由は」の問いに「外来で抗がん剤を使用できるようになり、1 回で 30 数万円という薬剤もあり、収益を押し上げる要因になっている」</li> <li>* 「外科と整形の患者数が大幅に増えている理由は」の問いに「手術件数が前年度比で 52 件と大幅に増え、経営戦略として個室利用促進を図った結果、室料も大幅に伸びた」</li> <li>* 「分娩の件数はどの程度伸びたのか」の問いに「26 年度で 276 件、27 年度が 335 件で 21% の増となっている」</li> <li>* 「未収金が非常に多い理由は」の問いに「大半は 2、3 月の診療報酬請求分なので 4、5 月には入金する。純粋な未収金の回収は強制的には困難な状況で、未収金は雑損扱いにはせず、時効中断をしてそのまま会計の中で残している」</li> <li>* 「予算との関係で入院患者と外来患者の比較はどうか」との問いに「当初予算では入院患者が 183 人、外来患者が 500 人としていたが、補正で入院患者 178 人、外来患者 435 人とし、決算では入院患者は変わらず外来患者が 430 人となった。病床稼働率は当初予算で 85.1% だが、決算では 82.8% となった」</li> <li>* 「病院の医師数が収益にどう反映されたのか」の問いに「医師数は伸びているが、非常勤 53 人を活用して収益を上げているのが実情」</li> </ul>	
討 論	なし	
結 果	全員賛成で認定	

## ■ 委員長報告概要 ■

	平成 28 年 9 月 定例会
	民生福祉常任委員会
議 案 件 名	議案第 88 号 建物等の取得について
概 要	子育て総合支援センターを整備するために、小野田駅北側の旧労働基準監督署の土地・建物を 6,597 万 3,000 円で取得するもの。
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「エレベーターは設置の方向で検討するのか」の問いに「設置の要望があることは理解しているが、構造的な問題もあり実施設計の段階で決めたい」また「改修費の 3,000 万円は何に使うのか」の問いに「床の張り替え、キッズキッチンのためのシンクや子どものプレイルーム、幼児用トイレ設置等の費用」</li> <li>* 「駐車場や遊び場等はどうするのか」の問いに「敷地内に外遊び場のスペースはなく、20 台程度の駐車場確保が第一となる」また「総合支援センターでの講座等が 230 回、年間 5800 人を見込んでいるのに 20 台の駐車場で大丈夫か」の問いに「隣接した 3000 m<sup>2</sup>の市有地があり、総合支援センターの駐車場としての利用等も担当課と協議している」</li> <li>* 「5 か所の地域支援センターと総合支援センターとの役割と位置付けはどうなるのか」の問いに「地域センターの中心的な役割を担う施設で、土・日も開館し、貸館としての利用や保健師やコンシェルジュなどの専門家 7～8 人が常駐することになる」</li> </ul>
討 論	なし
結 果	全員賛成で可決

## ■委員長報告概要■

		平成28年9月定例会
		産業建設常任委員会
議 案 件 名	議案第63号 平成27年度山陽小野田市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について	
概 要	<p>歳入合計4,189万154円に対し、歳出合計は2,396万6,426円となり、歳入歳出差し引き残額は1,792万3,728円である。</p> <p>歳入の主なものは駐車場使用料2,804万8,170円、繰越金1,379万932円で、歳出の主なものは一般管理費417万64円、公債費1,979万6,362円である。</p> <p>平成27年度の駐車場利用台数は、平成26年度より1,165台増の3万6,194台である。</p>	
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成28年度以降の公債費残額は4,416万4,614円である。</li> <li>・ 平成27年度の駐車場稼働率は54%である。</li> <li>・ 駐車場出口については、警察からの指摘もあり現状のようになっているが、駅側に設けてほしいとの要望もあるので、検討していく。</li> <li>・ 身障者用駐車場の位置は、国が進めているバリアフリー計画により駅のエレベーターの設置位置が変われば合わせる形も必要かと思うが、現時点では具体的に進んでいない。</li> <li>・ 料金改定後の利用台数は、5か月で昨年比4%増、月極定期駐車券は43%増である。</li> </ul>	
討 論	なし	
結 果	全員賛成で認定	

		平成28年9月定例会
		産業建設常任委員会
議 案 件 名	議案第67号 平成27年度山陽小野田市地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算認定について	
概 要	<p>歳入総額1,330万4,919円に対し、歳出総額は1,315万4,565円となり、差引き15万354円である。</p> <p>歳入の主なものは市場使用料等154万4,177円、一般会計繰入金996万1,000円で、歳出の主なものは市場管理費1,315万4,565円、卸売業者運営補助金300万円である。</p> <p>平成27年度の取扱量は前年比107.7%の1,887トン、取扱金額は前年比106.3%の4億6,722万6,000円である。</p>	
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取扱入荷先は市内10.7%、県内44.5%、県外44.8%である。</li> <li>・ 取扱量の増加は予約販売に努め、安定した価格で供給したことによる。</li> <li>・ 農林水産まつりについては、PR不足で、ポスター掲示場所を含め、周知活動に努める。</li> <li>・ 学校給食については市内10店舗で、取扱高の10%程度である。</li> <li>・ 卸売業者運営補助金は平成28年度で終了である。</li> </ul>	

討 論	なし
結 果	全員賛成で認定

平成28年9月定例会
産業建設常任委員会

議 案 件 名	議案第68号 平成27年度山陽小野田市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
概 要	<p>歳入総額30億3,797万8,430円に対し、歳出総額30億3,425万8,421円となり、差し引き額は372万9円である。</p> <p>歳入の主なものは下水道使用料5億9,512万1,070円、繰入金10億550万円などで、歳出の主なものは一般管理費1億1,520万5,158円、施設管理費2億8,912万9,593円、工事請負費7億1,851万1,506円などである。</p> <p>汚泥処分は5月から新ごみ処理施設で乾燥、焼却処分している。</p> <p>平成27年度末での普及率は52.6%、水洗化率90.3%である。</p>
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不納欠損額については使用料1,689件861万975円、負担金48件21万1,510円で、全て消滅時効によるもの。</li> <li>・ 平成27年度の徴収委託料150万5,400円が集金額113万3,164円を上回ったことについては是正を検討する。</li> <li>・ 現在の滞納件数は受益者負担金が257件で約60戸、下水道使用料は4,040件で約700戸である。</li> </ul>
討 論	反対：下水道負担金を徴収している。
結 果	賛成多数で認定

平成28年9月定例会
産業建設常任委員会

議 案 件 名	議案第69号 平成27年度山陽小野田市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について
概 要	<p>歳入総額8,722万7,101円に対し、歳出総額8,712万4,163円となり、差し引き額は10万2,938円である。</p> <p>歳入の主なものは農業集落排水使用料2,588万8,091円、一般会計繰入金6,060万円で、歳出の主なものは一般管理費2,303万5,579円、処理施設維持管理委託料936万5,112円である。</p>
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般会計繰越金には交付金が当てられるものではなく、全て一般財源である。</li> <li>・ 未水洗化家庭への働きかけは、現在行っていない。そういった家庭は浄化槽が多い模様で、壊れた後につなぎ替えられると推定している。</li> </ul>
討 論	なし
結 果	全員賛成で認定

平成28年9月定例会

産業建設常任委員会

議案件名	議案第72号 平成27年度山陽小野田市水道事業決算認定について
概要	<p>収益的収支について、収入合計は非現金性収入を含み14億1,471万5,088円に対し、支出合計は12億3,440万5,502円で、単年度純利益は1億8,030万9,586円である。</p> <p>有収水量は昨年比1万6,560トン増の739万5,839トンである。</p> <p>資本的収支について、収入合計は8億7,785万5,806円に対し、支出合計は13億709万1,935円で、結果差引き不足額は4億2,923万6,129円となる。この不足は損益勘定留保資金で全額補填した。</p>
論点又は質疑によって明らかになった事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>有収水量増加の要因は、平成26年度消費税導入による落ち込みからの回復と考える。</li> <li>現在の水道料金については、旧山陽と旧小野田の統合による形での料金設定としている。</li> <li>アセットマネジメントをした結果、40年間で240億円の投資が必要になるため、利益が出た場合は積立金に優先して積み立てている。</li> <li>森響水については、通常1回で5,000本作成するが、平成27年度はねりんピックの関係で1万本作り、75万円である。</li> <li>石綿管については、平成28年度で工事としては全部解消となる。</li> </ul>
討論	反対:建設改良基金等を積み上げていくことに対する市民の理解がまだ得られていない。将来的に大きな投資が必要であることを周知する努力をして欲しい。
結果	賛成多数で認定

平成28年9月定例会

産業建設常任委員会

議案件名	議案第73号 平成27年度山陽小野田市工業用水道事業決算認定について
概要	<p>収益的収支について、収入総額は非現金性収入を含み2億8,125万7,927円に対し、支出総額は2億4,281万6,120円で、単年度純利益は3,844万1,807円である。</p> <p>責任給水制をとっており、27年度はうるう年により1日分増の実質給水量は885万4,188立米である。</p> <p>資本的収支について、収入は病院会計からの貸付金償還金1,000万円はあるものの、これは平成19年度決算で措置した額の一部が償還されたものであり、収入総額0円に対し、支出総額は建設改良費など1億737万5,928円で、結果支出総額全額が不足額となる。その対応は損益勘定留保資金と積立金6,685万8,130円を取り崩し補填する。</p>
論点又は質疑によって明らかになった事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>病院事業会計への貸付については、疑問を持ちつつも資金の運用と考えれば年利0.4で市中銀行に預けるより有利である。</li> <li>病院事業会計からの償還金については、今後水道事業も厳しくなるの</li> </ul>

	で、病院にも厳しさを求めたい。
討 論	賛成：病院との交渉については、現状止むを得ないが、今後ユーザーから指摘の出ないように求めた上で。
結 果	全員賛成で認定

平成 2 8 年 9 月 定 例 会
産 業 建 設 常 任 委 員 会

議 案 件 名	議案第 7 6 号 山陽小野田市地方活力向上地域における固定資産税の不 均一課税に関する条例の制定について
概 要	平成 2 7 年 8 月に地域再生法の一部が改正され、東京 2 3 区から地方への 本社機能の移転や地方にある本社機能を拡充する企業を支援する税制上 の優遇措置等が講じられることとなった。山口県もこれに基づき、地域再 生計画山口県活力向上地域特定業務施設整備促進プロジェクトを策定し、 企業の本社機能等の移転及び区域内企業の本社機能等の拡充を伴う税目 について不均一課税制度を設立すると規定し、本市における対象区域も指 定されている。以上の経緯を受け、本市においても経済の活性化、雇用機 会の創出等の地域活力の再生を図ることを目的に、県の認定を受けた事業 者に対し固定資産税の課税を 3 年間軽減する不均一課税を実施する条例 を制定するものである。
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>この条例が適用される事業所は、現在本市にはない。県内では、周南 市に本社機能の拡充型が 1 件認定されている。</li> <li>条例可決後に本社企業を訪問した際は、企業誘致の工場設置奨励金制 度の周知を含め、積極的に売り込んでいく。</li> <li>移転型よりも拡充型がメインになると想定される。拡充型には交付税 措置による減収補填はないが、1 0 0 %市の持ち出しでやっていく。</li> </ul>
討 論	なし
結 果	全員賛成で可決

平成 2 8 年 9 月 定 例 会
産 業 建 設 常 任 委 員 会

議 案 件 名	議案第 7 7 号 町及び字の区域並びにその名称の変更について
概 要	今回の住居表示実施予定区は、昭和 6 1 年に山口東京理科大学設立に併せて 住居表示が行われた「大学通一丁目」に隣接した大字小野田の一部の約 1 6 . 9 h a の区域である。この地域は大学開校後、市街化が進み、須恵東自治会 からも住居表示設定の要望書が出された。当該区域の新町名は関係自治会で 決定された「大学通二丁目」とし、1 9 街区となる予定である。宇部市との 市境が入り組んでいるため、住居表示が設定されていなかった区域も併せて 今回設定する。
論点又は質疑 によって明らか	<ul style="list-style-type: none"> <li>赤十字病院の北側 3 軒を設定しない理由は、恒久的な施設として「ウツ ケ川」を区域の設定としたためである。</li> </ul>

なった事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学通一丁目、二丁目間の空白地帯が宇部市の土地が入り組んでいる土地である。</li> <li>・ 宇部市の入り組んだ土地については、地域の声もあるので不自然な市境の整理をすべきと思うが、現段階では困難である。</li> </ul>
討 論	賛成：若干の不安要素もあるが、地元の同意も取れている。
結 果	全員賛成で可決

平成28年9月定例会
産業建設常任委員会

議 案 件 名	議案第86号 平成27年度山陽小野田市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
概 要	平成27年度の決算において生じた当年度未処分利益剰余金1億8,030万9,586円のうち1億7,652万4,217円を建設改良積立金に、残りの378万5,369円は会計内に現金の裏付けがないため、資本金に組み入れることとする。
論点又は質疑 によって明らか になった事項	なし
討 論	なし
結 果	全員賛成で可決

平成28年9月定例会
産業建設常任委員会

議 案 件 名	議案第87号 平成27年度山陽小野田市工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
概 要	平成27年度の決算において生じた当年度未処分利益剰余金1億529万9,937円のうち3,432万7,014円を建設改良積立金に、残りの7,097万2,923円は会計内に現金の裏付けがないため、資本金に組み入れることとする。
論点又は質疑 によって明らか になった事項	なし
討 論	なし
結 果	全員賛成で可決

## ■ 委員長報告概要 ■

		平成28年9月定例会
		一般会計予算決算常任委員会
議 案 件 名	議案第62号 平成27年度山陽小野田市一般会計歳入歳出決算認定について	
概 要	<p><b>【歳入】</b> 前年度と比較し、地方消費税交付金や使用料及び手数料等の増、国庫支出金や繰入金、市債等の減、34億1,457万3,657円減の264億5,614万4,975円</p> <p><b>【歳出】</b> 前年度と比較し、プレミアム付商品券発行補助事業や給食共同調理場建設事業等の増、新病院建設に係る出資や新ごみ処理施設整備事業の終了、36億2,293万1,038円減の256億6,493万2,908円</p> <p><b>【歳入歳出差引額】</b> 歳入歳出差引額は、7億9,121万2,067円。 平成28年度に繰り越すべき財源1,389万2,664円を除いた7億7,731万9,403円を翌年度へ繰越し。</p>	
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<p><b>【歳入の主な内容】</b></p> <p>○ 1款 市税 市民税の増、固定資産税や都市計画税の減。前年度比4,642万9,000円減の99億8,633万6,000円</p> <p>○ 6款 地方消費税交付金 平成26年4月に税率が引き上げられた消費税及び地方消費税が平年化。前年度比4億8,356万4,000円増の11億4,634万8,000円</p> <p>○ 10款 地方交付税</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 普通交付税 公債費の減、人口減少特別対策事業費の新設、地域の元気創造事業費の増で基準財政需要額が増。固定資産税や市町村たばこ税の減、市民税法人税割や地方消費税交付金の増で基準財政収入額が増。前年度比4,150万5,000円増の43億7,939万円</li> <li>・ 特別交付税</li> </ul>	

前年度比 5 4 2 万 4, 0 0 0 円減の 6 億 9, 7 5 1 万 5, 0 0 0 円

○ 1 2 款 分担金及び負担金

災害復旧事業分担金や高齢者福祉費負担金の増。公立保育所運営費保護者負担金が減。前年度比 8, 9 0 2 万 4, 0 0 0 円減の 2 億 9, 7 3 5 万 2, 0 0 0 円、

○ 1 3 款 使用料及び手数料

保育所使用料、汚泥処理手数料等の増、前年度比 8, 8 6 6 万 5, 0 0 0 円増の 5 億 7, 9 0 4 万 4, 0 0 0 円

○ 1 4 款 国庫支出金

地域住民生活等緊急支援のための交付金等の増、がんばる地域交付金等の減、前年度比 4 億 1, 6 0 2 万 1, 0 0 0 円減の 3 5 億 1, 6 2 2 万円

○ 1 5 款 県支出金

中山間地域づくり総合支援事業補助金等などの減、子ども子育て支援交付金などの増、前年度比 6, 6 9 6 万 7, 0 0 0 円増の 1 6 億 4, 0 8 8 万 2, 0 0 0 円

○ 1 6 款 財産収入

基金運用収入の増、土地売却収入等の減、前年度比 7 1 5 万 5, 0 0 0 円減の 4, 6 2 6 万 2, 0 0 0 円

○ 1 7 款 寄附金

社会福祉費寄附金の減、ふるさと寄附金等の増、前年度比 4 3 7 万 6, 0 0 0 円増の 7 6 8 万 3, 0 0 0 円

○ 1 8 款 繰入金

減債基金繰入金の増、地域福祉基金繰入金等の減、前年度比 9, 1 7 9 万 5, 0 0 0 円減の 8, 8 4 4 万 4, 0 0 0 円

○ 2 0 款 諸収入

ネーミングライツ料等の増、土地改良施設維持管理適正化事業負担金等の減、前年度比 8, 5 9 1 万 3, 0 0 0 円減の 6 億 2, 1 2 4 万 2, 0 0 0 円

○ 2 1 款 市債

地域総合整備資金貸付事業債等の増、厚狭地区複合施設整備事業債等の減、前年度比 3 3 億 7, 4 5 4 万円減の 2 4 億 1, 7 0 0 万円

**【歳出の主な内容】**

○ **1 款 議会費**

議員報酬等の減、議員共済会負担金等の増、前年度比733万4,000円増の2億2,697万3,000円

○ **2 款 総務費**

厚狭地区複合施設整備事業費等の減、移住促進プロモーションビデオ作成委託料等の増、前年度比1億3,830万1,000円増の41億5,270万2,000円

○ **3 款 民生費**

保育士等処遇改善臨時特例事業補助金等の減、私立幼稚園運営費負担金等の増、前年度比1億565万2,000円増の95億9,533万8,000円

○ **4 款 衛生費**

病院事業会計繰出金等の増、新病院建設出資事業費等の減、前年度比40億6,075万8,000円減の23億2,886万4,000円

○ **5 款 労働費**

子育て女性等就職応援事業費等の増、小野田勤労青少年ホーム改修事業費等の減、前年度比222万6,000円減の5,121万3,000円

○ **6 款 農林水産業費**

新規農業就業者定着促進事業補助金等の増、需要対応型産地育成事業補助金等の減、前年度比1,480万4,000円減の4億3,033万9,000円

○ **7 款 商工費**

小野田・楠企業団地整備事業費等の減、プレミアム付商品券発行補助事業費等の増、前年度比7,402万9,000円増の6億720万円

○ **8 款 土木費**

緑の基本計画策定事業費等の減、道路新設改良事業費等の増、前年度比4,620万5,000円増の20億7,264万4,000円

○ **9 款 消防費**

厚狭分団車庫建設事業費等の増、宇部・山陽小野田消防組

合分担金等の減、前年度比2,899万9,000円減の10億210万円

○ 10款 教育費

幼稚園就園奨励費等の減、学校給食共同調理場建設事業費等の増、前年度比2億8,956万7,000円増の18億4,592万9,000円

○ 11款 災害復旧費

道路橋りょう河川災害復旧費等の増、前年度比1,935万8,000円増の2,037万8,000円

○ 12款 公債費

一時借入金利子の増、地方債元金償還金等の減、前年度比1億9,659万円減の33億3,125万4,000円

【性質別の歳出】

○ 人件費

職員給与費等の増、退職手当等の減、前年度比6,284万2,000円減の37億9,709万5,000円

○ 扶助費

保育所運営費等の増、臨時福祉給付金給付費等の減、前年度比4,253万3,000円減の60億3,111万2,000円

○ 補助費等

宇部・山陽消防組合分担金等の減、プレミアム付商品券発行事業補助金等の増、前年度比3億3,513万1,000円増の26億8,781万8,000円

○ 公債費

定時償還の減、前年度比1億9,655万4,000円減の33億3,487万9,000円

○ 積立金

財政調整基金等への積立、前年度比1億4,357万7,000円増の10億5,737万4,000円

○ 繰出金

国民健康保険特別会計繰出金等の増、前年度比1億5,553万8,000円増の36億4,749万1,000円

○ 投資的経費

・ 普通建設事業費

	<p>学校給食共同調理場建設事業等の増、新ごみ処理施設整備事業等の減、前年度比31億6,718万1,000円減の17億2,951万7,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害復旧事業費 <p>公共土木施設災害復旧事業等の増、前年度比2,512万8,000円増の2,619万9,000円</p> </li> </ul>
<p>自由討議</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事務事業評価シートに対する担当課の対応がまちまちで、何のための事業評価なのかきちんと受け止められておらず、事業終了後の総括が担当課できちんとされていない。</li> <li>○ 委託料や補助金の支出の基準が非常にあいまいである。きちんと支出すべきだ。</li> <li>○ 事務事業評価について改善の努力は見えるが、まだ不十分だ。例として、移住ナビの事業に端的に出ていたが、作成することが目標に設定されており、何のために作るのか、次につなげるための目標設定がされていないため、この事業の評価につながらない。このような事例がその他の事業にも多々見られた。その原因は、目先だけではなく、将来何につなげたいのかという視点で事業を考えるという点が不十分だからではないか。</li> <li>○ 財政健全化に向けての努力は評価したい。来年度から公会計になるが、公会計の目的は費用対効果をしっかり分析して、次の新たな投資に着実に向けていくためである。担当課がしっかり方向性を見据えて問題点を探り、次にどう反映するかをつかんでいないと、しっかりした財政運営ができないので、そういう対応をしてもらいたい。</li> <li>○ 執行部の横のつながりがないので、いろいろなことで前に進んでいけないという気がする。横のつながりを作るために今後どうすればいいか考えてほしい。</li> <li>○ 担当者の自信のなさが表れており、柔軟な対応ができないため、硬直した解釈や事業の運営しかできていない。これでは駄目だということを強く言いたい。</li> </ul>
<p>討 論</p>	<p>反対討論 1</p>
<p>結 果</p>	<p>賛成多数で認定</p>

## ■ 委員長報告概要 ■

		平成28年9月定例会
		一般会計予算決算常任委員会
議 案 件 名	議案第75号 平成28年度山陽小野田市一般会計補正予算 (第5回) について	
概 要	補正の主なものは、山口東京理科大学薬学部校舎建設事業、定期予防接種事業、災害復旧事業、市税償還金など取り急ぎ措置すべき案件の補正で、歳入歳出それぞれ35億9,211万9,000円を増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ328億7,014万4,000円とするものである。	
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<p>○ 市立山口東京理科大学の薬学部校舎等の建設事業費</p> <p>2款総務費7項1目大学費34億4,230万円増額で、文部科学省などとの協議や工場検査の旅費48万9,000円、建築確認申請手数料等234万9,000円、建築・設備等の工事監理委託料1,710万円、工事請負費33億7,520万円、公立大学法人運営基金積立金4,716万2,000円。</p> <p>債務負担行為補正で、期間を平成29年度、限度額を51億270万円。これにより、薬学部校舎等建設に要する工事費は84億9,500万円。</p> <p>工事期間は平成28年度から平成30年度までの3年、総額118億9,246万6,000円。</p> <p>平成28年度は40億3,674万2,000円で、設計委託費1億2,810万円、解体工事費9,000万円、建築主体工事費18億9,960万円、電気設備工事費5億2,680万円、機械設備工事費9億4,880万円で、校舎建設に係る工事費の合計は33億7,520万円。用地購入費4億3,950万4,000円、事務費等393万8,000円。</p> <p>平成29年度は76億2,061万1,000円で、設計委託費4,145万円、建築主体工事費28億4,940万円、電気設備工事費7億9,020万円、機械設備工事費14億2,320万円で、校舎建設に係る工事費の合計は50億6,280万円。危険物倉庫等建設工事費5,750万円、排水処理設備工事費8,750万円、駐輪場整備工事費2,400万円、防火水槽設置工事費1,200万円、外構整備工事費2億1,900</p>	

万円、備品関連経費 20 億 500 万円、薬草園工事費 429 万 3,000 円、情報ネットワーク整備費 1 億円、事務費等 706 万 8,000 円。

平成 30 年度は 2 億 3,511 万 3,000 円で、設計委託費 200 万円、外構整備工事費 2 億 3,190 万円、事務費など 121 万 3,000 円。

建設事業に係る特定財源は、平成 28 年度 38 億 5,290 万円、平成 29 年度 58 億 540 万円、平成 30 年度 1 億 7,390 万円で、3 年間で総額 98 億 3,220 万円の地方債の活用を予定し、内訳は 16 億 3,000 万円を上限とした合併特例債と学校教育施設等整備事業債 75 億 1,550 万円。今回の補正で県の無利子長期貸付金の戦略的重点資金 6 億 8,670 万円を新たな財源。

質疑の中で「昨年、薬学部建設事業は約 110 億円であったが、今回約 120 億円になっている。その理由は」との質問には「当初は校舎面積を 1 万 8,300 m<sup>2</sup>と想定していたが、設計した結果、2 万 1,000 m<sup>2</sup>を少し超える広さになった。また、危険物倉庫などを別棟として建てることになったので、工事請負費 87 億円の予定が 91 億 6,419 万 3,000 円となり、この差が約 4 億 6,400 万円。また、用地購入費 4 億 3,950 万 4,000 円と情報ネットワーク経費を 1 億円と想定。この合計が 10 億 300 万円程度になる」との答弁。

「県の無利子貸付金制度は 1 年限りの資金か」との質問には「平成 28 年度は県の貸付枠が年 8 億円。29 年度以降は、その年度の県の枠の設定あるいは協議の進め方」との答弁。

「公立大学法人運営基金の積立金は幾らか」との質問には「補正後は 12 億 5,756 万 2,000 円となる」との答弁。

#### ○ その他の歳入

固定資産税 5,700 万円の増は、家屋 1,900 万円と償却資産 3,800 万円で、家屋増の要因は、当初予算比 107 棟増の 265 棟、1.1%程度の増額。償却資産増の要因は、設備投資が見込みを上回り、2.1%程度の増額。軽自動車税 1,600 万円の増額は、13 年を経過し重課となる車両が、

	<p>2,010台であったことなどから、12%程度の増額。</p> <p>○ その他の歳出</p> <p>3款1項3目高齢者福祉費の長生園負担金784万1,000円の増額は、来年4月1日の民間移譲に向け、再度公募となったため、本年11月から来年3月末までの分担金と期間延長による解散時の分担金の増額補正。</p> <p>3款2項2目児童措置費の病児保育施設整備補助金3,135万円の増額は、病児保育事業所の整備補助金で、負担割合は、国、県、市それぞれ3分の1。</p> <p>4款1項2目予防費の予防接種委託料1,143万6,000円の増額は、B型肝炎ワクチンが定期予防接種に位置付けられたことに伴う補正で、医療機関との委託契約で実施。1歳の誕生日を迎える前日までに3回接種、対象者は本年4月1日以降に生まれた者で500人。</p>
<p>討 論</p>	<p>反対討論1</p>
<p>結 果</p>	<p>賛成多数で可決</p>

## ■ 委員長報告概要 ■

		平成 28 年 9 月 定例会
		山口東京理科大学薬学部設置促進 並びに利活用調査特別委員会
議 案 件 名	議案第 89 号 土地の取得について	
概 要	山口東京理科大学薬学部校舎建設に係る宇部市が所有する土地の購入について議会の議決を求めるもの	
論点又は質疑 によって明らかになった事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 土地の面積は 3 万 2, 2 6 1. 1 2 平方メートル。</li> <li>* 購入金額は 4 億 3, 9 5 0 万 3, 6 2 2 円。</li> <li>* 購入する理由は、宇部市が土地を譲与することは、宇部市民の理解を得ることができないということで協議した結果。</li> <li>* 市民への説明は、4 月以降に回りたい。</li> <li>* 議会からの附帯決議である「市境の変更」については、「当然のこととして努力したい」との回答があった。</li> </ul>	
討 論	反対討論あり	
結 果	賛成多数で可決	